

15 回 スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウム開催報告

1. 開催趣旨

本年度のスーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウムは、富岳、GPGPU、量子コンピュータ、ベクトル型など、最前線で活用されている多彩な計算機の事例に着目し、様々なアーキテクチャーがどのような分野の計算に適しており、何がどこまでできて、どのくらいのレベルにあるのかといった最新の技術情報の発信と共有を目的として開催いたしました。

2. 実施概要

- ・ テーマ：「HPC 技術の現在、そして未来～革新的コンピューティング～」
- ・ 開催日時：2022 年 12 月 9 日（金）13:00～16:50
- ・ 開催場所：Webinar 方式によるリモート開催
- ・ 参加者数：190 名
- ・ 主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会
 - ・ 後援：文部科学省、経済産業省、一般社団法人 日本経済団体連合会、国立研究開発法人 科学技術振興機構、一般社団法人 産業競争力懇談会（COCN）
 - ・ 協力：東京大学生産技術研究所 革新的シミュレーション研究センター、公益財団法人 都市活力研究所
 - ・ 協賛：一般財団法人 高度情報科学技術研究機構
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 HPCI コンソーシアム、公益財団法人 計算科学振興財団
公益社団法人 関西経済連合会
国立研究開発法人 理化学研究所 計算科学研究センター
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構分子科学研究所
特定非営利活動法人 バイオグリッドセンター関西
特定非営利活動法人 CAE 懇話会

3. プログラム

主催者挨拶

産応協・運営委員長

来賓挨拶 文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付計算科学技術推進室長

河原 卓様

経済産業省商務情報政策局情報産業課半導体・デバイス戦略室長

荻野洋平様

【講演 1】 「「富岳」を使ったリアルタイムのゲリラ豪雨予報」

国立研究開発法人 理化学研究所 計算科学研究センター（R-CCS）

データ同化研究チーム チームリーダー

三好建正先生

【講演 2】 「リアルタイム津波浸水被害予測システム」

東北大学災害科学国際研究所災害レジリエンス共創センター

副センター長・教授

越村俊一先生

【講演 3】 「人工知能技術の橋渡しインフラ ABCI と

次世代計算テストベッドに向けた今後の展開」

経済産業省商務情報政策局情報産業課

ソフトウェア・情報サービス戦略室企画官

小川宏高様

【講演 4】 「量子コンピュータの最前線」

大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻電子光科学領域 教授

藤井啓祐先生

産応協活動報告

産応協・企画委員長

閉会挨拶

産応協・企画副委員長

4. 当日概況

今回のシンポジウムは、昨年度より引き続きコロナ禍の影響を受け、3年引き続き Webinar 方式での開催を余儀なくされました。その影響も受け参加者数は、昨年度をやや下回る 190 名（登録 245 名）でしたが、取上げたテーマが、富岳、GPGPU、量子コンピュータ、ベクトル型などの多彩な計算機における最前線の事例のご紹介を中心に据えたため、様々な分野の方に有益な情報をご提供できたのではないかと考えております。実際受講された方から頂いたアンケートを拝見したり、当日の質疑応答の状況からみまます、大変満足頂けた様子が伺えました。

Webinar 方式は、講師の側からしますと参加者の反応が少し読み取り難いという点がありますが、参加者の立場から見ると、東京以外にお住まい、お勤めの方々も容易に受講ができる、或いは関心のあるところだけ、又は業務の都合に合わせて参加できる等いい面も沢山あります。今後は、こうしたシンポジウムやセミナーも対面・Webinar 方式のハイブリッド等様々な形態を模索していくことになるのではないかと思います。

以 上